

令和6年度(第14期)事業計画

(令和5年10月1日～令和6年9月30日)

公益財団法人
松下社会科学振興財団

松下資料館
Matsushita Memorial Library

【はじめに】

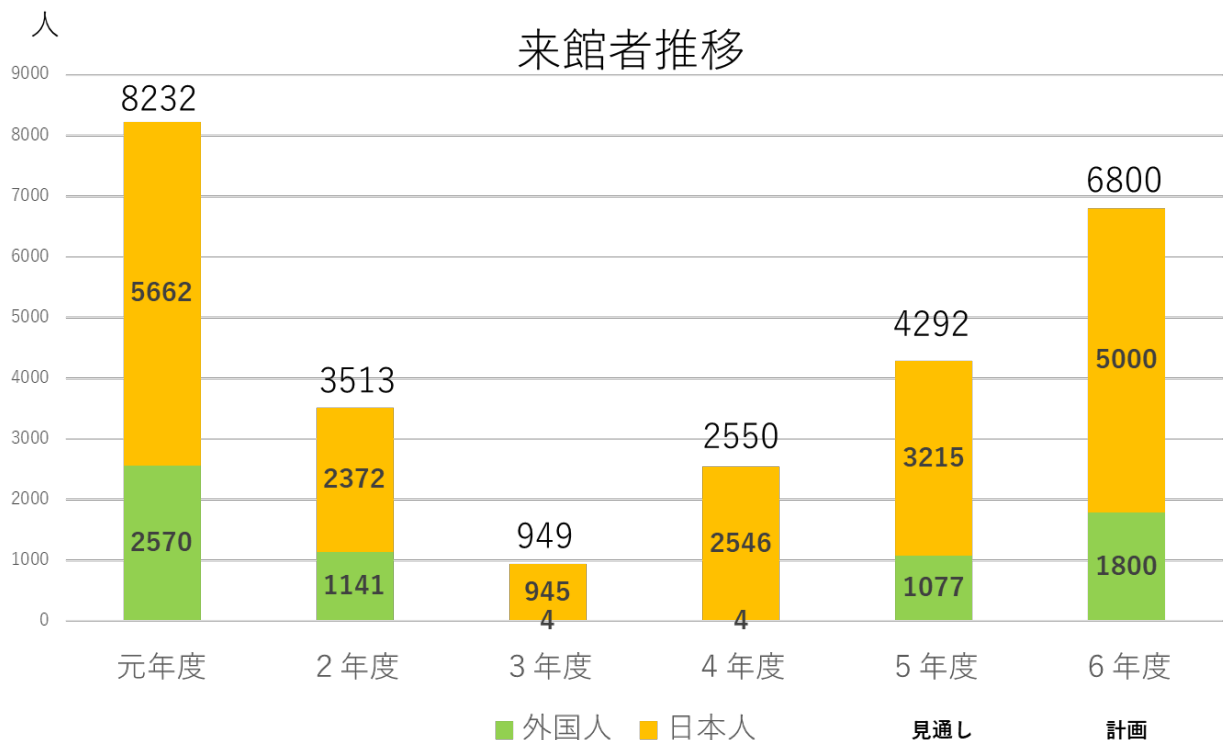
公益財団法人松下社会科学振興財団は、平成22年9月22日に京都府より財団法人から公益財団法人への移行の認定書を受理し、次年度（令和6年度）は第14期を迎えます。

平成6年に松下幸之助生誕100年を記念して開設された「松下資料館」の管理と運営を当財団の活動の主体としております。

【松下資料館 来館者の推移】

令和2年3月に始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、松下資料館の来館者数は減少しておりましたが、ようやく反転のきざしが見え、令和5年度の来館者数見通しは4,292人の予定です。（下記グラフ参照）

令和6年度は、入国制限緩和が進むことにより海外からの来館者がより一層増加することが予測され、今年度以上の来館者増が見込まれます。



【令和5年度の活動】

令和5年度は、来館者の対応とともに、次のような活動を実施してまいりました。

①来館者サービスの向上

- 庭園シアター用映像「感謝の心」（4か国語対応）12月完成・現在公開中
- 教養講座 2回実施（2月、8月）
- 「新入社員 合同学びの会」4月実施
- 経営図書館の書架増設 4月実施
- 映像ブース用映像を6コンテンツ（日本語）制作 9月公開
- ホームページのスマートフォン対応 9月実施

②安全・危機対応に向けて

- AED機器の更新 11月実施
- 固定電話システム・端末機器の更新 12月実施
- 非常時退避ルート確保のための館内扉を増設 2月実施
- 照明のLED化（図書館、事務室など展示室以外） 4月実施
- エレベーターホール照明の照度アップ 4月実施
- 監視映像システムのデジタル化とカメラの増設 5月実施

【令和6年度（第14期）事業計画】

平成6年（1994年）に松下資料館が設立されて、令和6年4月に創設30周年を迎えます。令和6年度は、従来の事業活動を着実に実行しつつ、創設30周年記念の事業も加えて実施してまいります。

< I 経営研究事業 >

多目的な“研究の場”として松下哲学の勉強会や、日本の経営を中心とした研究会、さらには教養講座や講演会などを随時行なっています。



◎教養講座

教養講座とは、豊かで幸せな社会を創るために役立つ考え方・知識・情報等を教養として学ぶ少人数制の公開講座です。

<教養講座の企画コンセプト>

- ・松下幸之助哲学に学ぶ
- ・京都府管轄の公益財団法人として、京都の産業・文化に学ぶ

●（第8回）令和6年2月予定

講演テーマ：「松下幸之助『人生も経営である』」（仮題）

川上恒雄氏

（株）PHP研究所 研究部長（主席研究員）

●（第9回）令和6年8月予定

講演テーマ：「京都のブランド力～伝統と革新で新価値創造」

塚本能交（つかもと よしかた）氏

株式会社ワコールホールディングス 名誉会長

京都商工会議所 会頭

◎出張講演会・オンライン講話の提案

諸事情により来館できないお客様に、出張講演会およびオンライン講話の提案を行ってまいります。

(ニーズ例)

- ・遠方のためなかなか行けない
- ・社内や関連団体のメンバーを一同に集めて来館するのが難しい
- ・大人数のお客様を連れて行きたいが受け入れ可能な人数を超えてしまう
- ・企業・団体のイベント等の一環として
- ・仕入先・業者さん・業界団体等の勉強会・研修会として
- ・社員教育や組合研修の一つの講座として

◎研究会の企画

今日、MBA等の経営学を学ぶ方々が大変増えています。そうした学問としての経営学だけで経営をしてもうまくいくとは限りません。そこに経営哲学や実践に裏付けされた経営に対する考え方がないと生きた経営はできません。

令和7年度に向けて、今日の経営状況を踏まえて「生きた経営とはどうあるべきか」といった研究会の企画・検討を進めてまいります。

- ・具体的テーマの検討
- ・研究者・協力先の選定
- ・研究会の進め方の検討
- ・研究成果の検討

<Ⅱ 展示事業>

展示コーナーでは、グラフィックパネルを用いて、松下幸之助の“行き方・考え方”を紹介しております。さらに映像ブースでは、松下幸之助とその教えを受けた人々の映像を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で視聴することができます。



◎新しい映像の制作・公開

松下資料館創設30周年を記念して、「松下むめの～もう一人の創業者（仮題）」の制作。

- ・令和6年4月公開予定 ※日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語対応
- ・協賛：パナソニックホールディングス（株）、（株）PHP研究所
- ・展示場所：展示室フロア 「松下幸之助の歩んだ道」ディスプレイ
- ・PHPチャンネル（You Tube）でも宣伝してまいります（4月開始）

◎第11回「新入社員 合同学びの会」の実施

中小企業の新社会人に向けて、松下幸之助の仕事観・人生観を学んでいただく会です。

- ・令和6年4月に実施予定（定員30名）

◎映像ブースの映像を追加

現在、映像ブースで85点の映像を視聴することができます。その中でも書籍「道をひらく」から文章を抜粋した朗読映像4点が大変人気があります。令和6年度に、さらに同書籍の文章を抜粋して6点の朗読映像を新たに制作し追加してまいります。

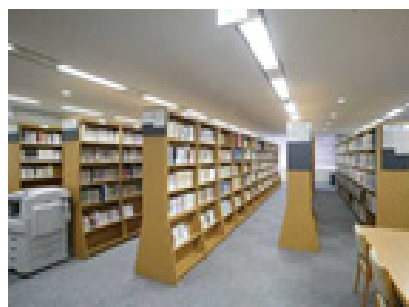
- ・朗読候補：三林京子（女優）

◎展示コーナーのリニューアル化を検討

現展示コーナーのパネル・映像システム・備品等が10年を過ぎたことから、数年先を見据えて、より魅力的な展示のあり方を検討・企画し、その準備を始めます。

<Ⅲ 経営図書館事業>

経営図書館では、現代経営に役立つ図書館を目標に、その関連資料を収集しております。松下幸之助がこれまでどのようなことを述べてきたかを知りたいとき、日本的経営の源流を知りたいとき、あるいは経営者の経営理念をじっくり研究したいときなど、経営、ビジネスの面から幅広く活用することができます。



◎経営者執筆本・会社社史の充実化

経営者執筆本・会社社史の蔵書といった全国的にも特徴のある図書館として、さらに充実化を図ってまいります。

- ・新規発刊された経営者執筆本・経営経済関係図書の購入
- ・ホームページでの継続的な寄贈の呼びかけ
- ・社史編纂請負会社への寄贈依頼
- ・来館された企業幹部への声かけ

○ 令和5年7月末現在 蔵書数

全蔵書数 21,785冊

(内) 経営者執筆本 2,662冊

会社社史 3,660冊 (2,303団体)

<IV その他活動>

◎松下資料館創設30周年記念出版

令和6年4月に松下資料館創設30周年を迎えるにあたり、松下幸之助に関する出版をPHP研究所協力のもと進めてまいります。

- 令和6年4月：月刊誌「THE 21」5月号に松下幸之助特集と松下資料館の紹介
- 令和6年4月：「松下幸之助エピソード集（仮題）」の書籍出版
- 令和6年4月以降

「THE 21」と、「松下幸之助エピソード集（仮題）」を

セットにして、関係先に“松下資料館創設30周年記念”として贈呈

◎広報・普及活動の検討

松下資料館および松下幸之助をより多くの方々に知ってもらう情報発信を目的とした広報・普及活動を強化するために、具体的な企画・実践方法を、令和7年度実行に向けて検討してまいります。

令和6年度の金融情勢は、令和5年度と同様、為替、株価ともに不安定な状況と見ております。よって、利金収入は、下降局面も踏まえて推定し、その他収入の確保（講話収入等）と効率化によるコスト削減にさらに注力して経営の良化に努めてまいります。